

事業者温室効果ガス削減計画書概要(第1計画期間)

1 事業所の概要

事業者の名称	東日本旅客鉄道株式会社 JR仙台病院		
事業所の名称	東日本旅客鉄道株式会社 JR仙台病院		
事業所の所在地	仙台市青葉区五橋1-1-5		
主たる事業	医療業		
事業者の該当要件	○	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
		条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	JR仙台病院はJR東京病院とともに東日本旅客鉄道(株)の企業内病院として、エネルギーの削減に向けた取組みは病院施設とはいえ、大きな関心事である。平成12年7月、現在地に新築開院して以来、使用エネルギーの把握を行い、削減量が着々と目に見える形で表れている。使用エネルギーの大半は空調設備に係わるものであり季節の暑さ寒さに大きく影響を受けるが、これまでの経験と各種収集したデータ分析等を通して削減に向けて前向きに取り組んでいく。		

2 温室効果ガスの削減目標等

温室効果ガスの排出状況及び削減目標	基準年度	2019 年度	基準排出量	3,979 t-CO ₂	基準原単位	0.1452	
	目標年度	2022 年度	目標排出量	3,800 t-CO ₂	目標原単位	0.1387	
			削減率	4.49 %	削減率	4.47 %	
	目標設定の考え方	JR仙台病院が開院した2000年度(平成12年度)だけで5,658tの排出量を計測している。その後の4年間も5,000tを上回った排出量を計測しており、5年間(第1期)の平均で6,501tである。 また、2005～2010年にかけては排出量が4,000t台で推移し、この6年間(第2期)の平均で4,470tである。 さらに、2011～2019年は2011年3月の東日本大震災で徹底した節電対策があり、省エネ意識の向上した。それにより、9年間(第3期)の平均で3,827tとなっている。 一方、2019年度は暑い夏場の影響もあって3,980tと平均より大きな結果になった。近々の9年間の数値を見ると大幅に排出量が削減された数値となっている。 2019年度の基準排出量に対する今後3年間の目標設定は、大規模改修以外に改善の余地は無いと感じている。開院して20年が経過し老朽化した設備の部品修繕はあっても機器本体(空調や昇降機器)の更新は行われていないからである。したがって、今後の目標値を3,800tを下回ること、4.5%を削減目標としたい。					

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施計画	基準年度実施率	92 %	目標年度実施率	96 %
選択対策の実施計画	項目			実施年度
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)			実施済

様式第1号

その他の対策の実 施 計 画	項目	具体の取り組み内容	実施年度
	従業員の自動車利用の抑制、公共交通機関の利用促進	通勤は基本的に公共交通機関利用のみ支給を行うことで、自家用車利用の抑制を図っている。	実施済
	廃棄物削減対策の実施	リサイクル可能な廃棄物と不可能な廃棄物を排出前に分別し、廃棄物の削減に取り組んでいる。	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	通年において、ビジネスシーンを考慮し、室温に合わせて快適に執務ができる服装を着用することとしている。	実施済